

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

禁止 **実行** **注意**
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- 禁止** 分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。
- 注意** ミラーキャビネットや洗面キャビネットの据付は、壁面の木枠の位置や強度が十分であることを確認して設置説明書通り正しく行ってください。
- 注意** 電気工事・給排水工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・漏水の原因になることがあります。
- 注意** 壁に不陸がある場合は、必ず壁を施工しなおしてください。
- 注意** 組込まれる電気製品・水栓などについては、各説明書および本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります

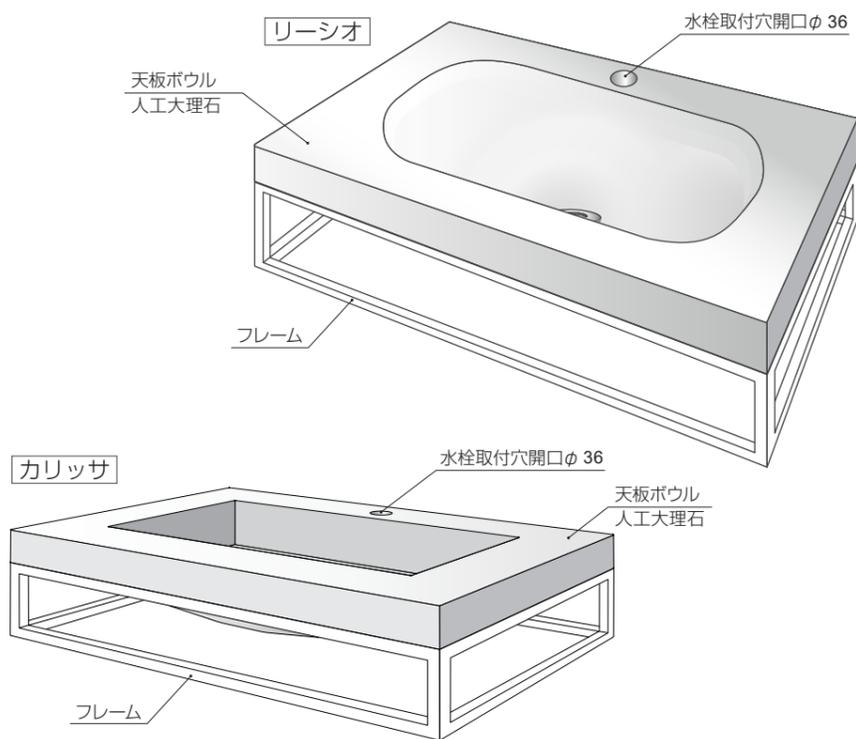
注意 「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

- 注意** 凍結が予想される際は（寒冷地仕様の水栓の場合）配管と水栓の水抜き操作をしてください（寒冷地仕様以外の水栓の場合）水栓から少量の水を出したままにしてください。
凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。詳細については水栓の取扱説明書をご覧ください
- 禁止** 固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤・ヌメリ取り剤は、使ったり近づけたりしないでください。
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。

- 禁止** 化粧品の使用について、毛染液、マニキュア液、除光液などがついた場合には、必ず拭き取ってください。
変色・変形・破損の原因となります。
- 禁止** 洗面ボウルの上に乗ったり、過度にもたれかかったり、衝撃を与えないでください。
変形や破損でケガをするおそれがあります。
- 注意** 湿度が高い時期に氷や井戸水をためて放置しないでください。
結露し、キャビネットを傷める原因となります。
- 禁止** 火のついた物（タバコ、マッチなど）を置いたり近づけたりしないでください。
こげあとがつくおそれがあります。
- 禁止** 洗面ボウルが冷えているときに直接熱湯をかけないでください。
急激な温度変化でボウルが割れることがあります。必ず水をためてから熱湯を注いでください。
- 禁止** 塩ビ系ゴム製品を放置しないでください。
輪ゴム、ゴムペラなどを長時間放置すると変色のおそれがあります。特に人工大理石の場合はご注意ください。
- 禁止** 排水口に直接熱湯を流さないでください。
破損や水漏れのおそれがあります。
- 注意** シャワーホースが水受けタンク内にうまく納まるか、数回引出して確認してください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。
- 注意** 水道工事などは貴都市の条例に基づいて行ってください。
- 注意** 排水器具・排水管の取付け、および給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。
- 注意** 洗面ボウルの角が鋭利なデザインのため、身体をぶつけないよう注意してください。
ケガをするおそれがあります。
- 注意** 水栓を全開吐水しますと水はねで、周囲が濡れる場合があります。
水量が多い場合は止水栓を調整してください。
- 注意** 水栓から湯水を出しっぱなしにしない。
湯水があふれて大きな損害になる場合があります。
- 禁止** ヘアピン、カミソリの刃などを放置しないでください。
サビが付着して取れなくなる場合があります。
- 禁止** 金属たわしなどや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しないでください。
細かいキズが付き、光沢がそこなわれるおそれがあります。
- 注意** 混合水栓をご使用の際は、必ず水から出してください。
やけどをするおそれがあります。
- 注意** 給水給湯管の接続時に湯水を逆に配管しないでください。
火傷やケガをするおそれがあります。
- 注意** 凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください。
配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。
- 注意** 水道工事後は必ず、給水給湯を行い、配管接続部および給排水各部の水漏れがないことを確認してください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。
- 注意** 水栓には、専用の取扱説明書が付属しております。必ずお読みになり使用上のご注意やメンテナンスを守り、正しくお使いください。
- 注意** 横引管が逆勾配にならないように取付けてください。
排水能力が悪くなります。
- 注意** 据付施工・調整時には必ず保護手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。

1 各部の名称

◎デリエレ・リーシオ/カリッサ



2 お手入れ方法

■天板のお手入れ

《通常のお手入れ》

水を含んだ布またはスポンジで水拭きしたあと、乾いた布で拭きしてください。
※ 水あかの原因になるため、水滴は残さないようにしてください。

《汚れているとき》

- ① 布またはスポンジに中性洗剤を付けて、汚れを落としてください。
 - ② 水を含んだ布で洗剤を拭き取り、乾いた布で拭きしてください。
- ※ ひどい汚れや落ちにくい汚れは、ナイロン不織布（スコッチブライトなど）で丁寧に磨いてください。

- 沸騰したお湯をかけたりタバコなど熱いものを、天板に直接置かないでください。
（変色・変形・割れの原因になります）
- 硬く重いものを、天板に落としたり引きずったりしないでください。（キズ・割れ・へこみがつくおそれがあります）
- 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザーなどを使用しないでください。（キズがつくおそれがあります）
- 酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤や漂白剤、ヌメリ取り剤は使用しないでください。（ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります）
- 濡れたヘアピン、カミソリの刃などを放置しないでください（サビが付着して取れなくなる場合があります）
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤・塗料・マニキュアの除光液・インク・毛染剤・うがい薬（ヨード系）などが付着したときは、すぐに拭き取ってください。
（天板をいためる原因になります）

3 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

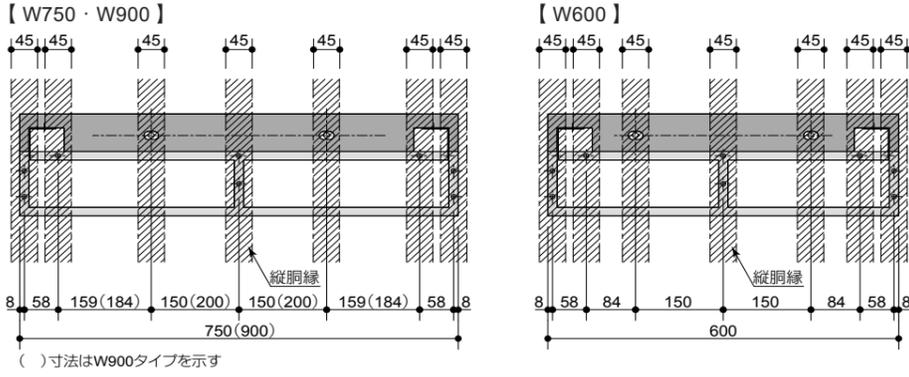
- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず手運びで行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、梱包の段ボールなどで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

- 設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。
- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
 - 取付用下地の位置および寸法（構造用合板 t12mm または t24mm）が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。
 - 必要な給湯水管・排水管・電気配線の位置および接続方法。
 - 総重量 (kg)

	W 900	W 600	W 750	W 900
リーシオ	19 kg	22 kg	26 kg	
カリッサ	22 kg	27 kg	29 kg	

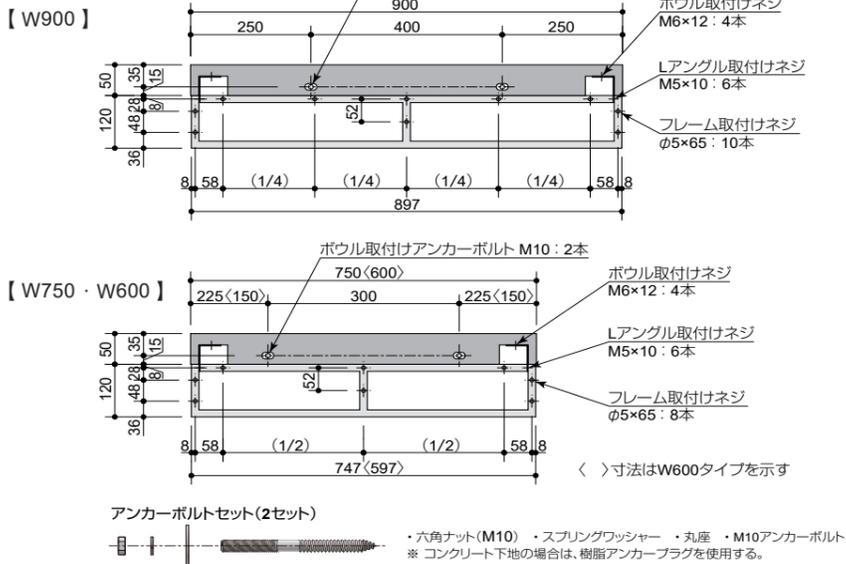
4 下地補強について



- 縦胴縁 45×65mm程度で補強下地を構成してください。(現場の状況により、十分な取付強度が得られるように補強下地を施してください。)
- 構造用合板 (t12mm または t24mm) を、壁面張りしてください。

5 フレーム、天板ボウルの設置

■ 壁面へのネジ・ボルト固定時には、適切なドリル径で下穴加工を行い壁面に固定してください。



■ フレームの取付

- ① 設置位置に墨出しをして付属の皿タッピングネジ 5 × 65 で壁面に固定してください。
- ② 天板ボウル固定用の L アングルを付属のトラスネジ M5 × 10 でフレームに固定してください。

■ アンカーボルトの取付

- ③ 所定の位置に墨出しをして下穴をあけてください。
- ④ 付属のアンカーボルト 10 × 120 を壁面に固定してください。
コンクリート下地の場合は付属の樹脂アンカープラグを使用してください。

■ 天板ボウルの取付

- ⑤ L アングルの上に天板ボウルを乗せ、壁面に向かってスライドさせながらアンカー用穴にボルトを貫通させて、壁面まで押し込んでください。
(挿入時にボウル本体を傷つけないように注意してください)
- ⑥ L アングルと天板ボウルを付属のトラスネジ M6 × 12 で固定してください。
- ⑦ 天板ボウルを付属の六角ナット M10 でアンカーボルトに固定してください。
※ 過度に締め付けるとボウルが破損する場合がありますので注意してください。
※ 付属の平ワッシャー、スプリングワッシャーを必ず使用してください。

6 機器の取付け

水栓金具、排水器具を付属の説明書と通りに正しく取付けてください。

7 設置後の調整・確認

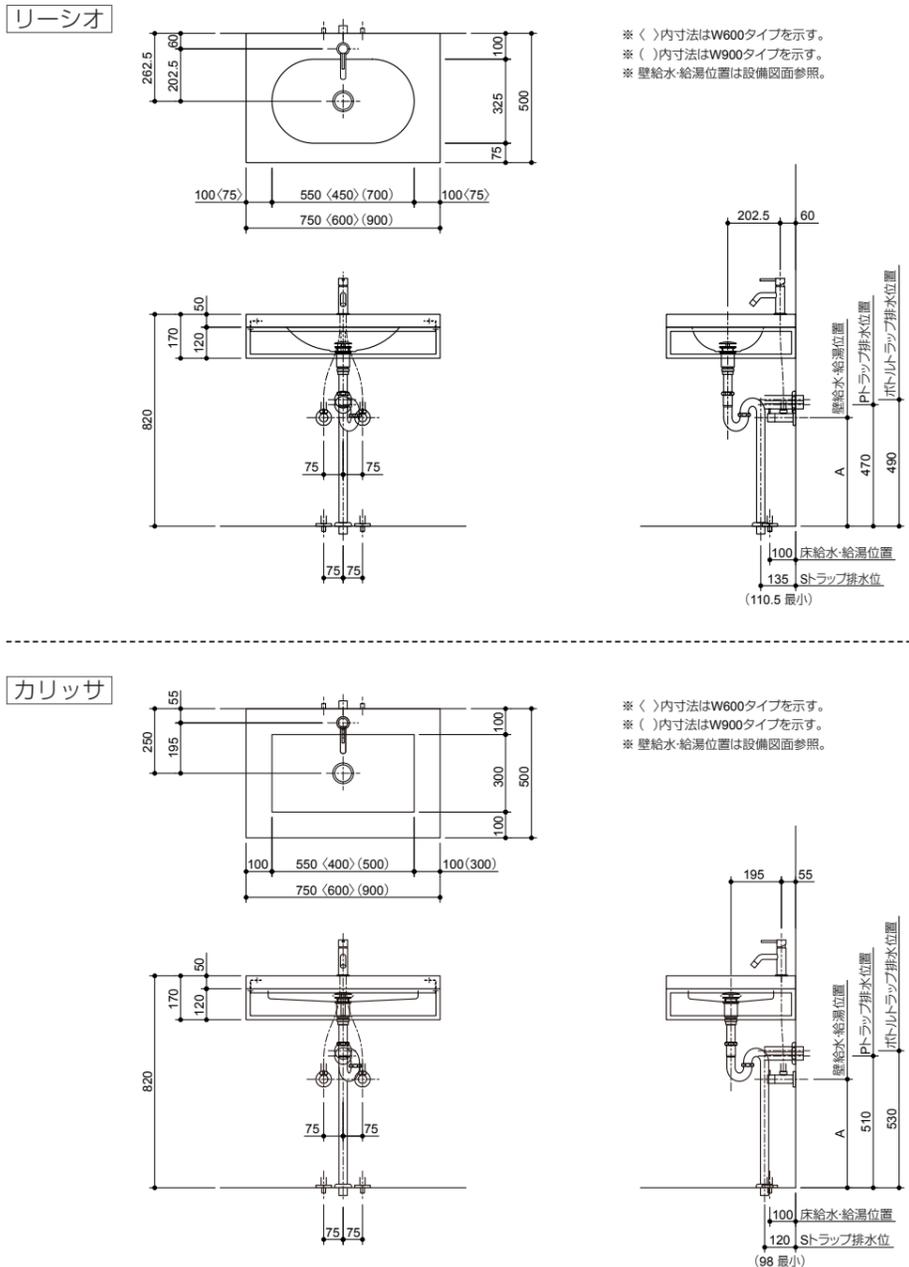
《各部の調整》

設置完了後は、本体のがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。

《設置後の確認》

- 設置状況の再確認
 - 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
 - 必ずボウルと排水器具の接合部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。
- 設置後のクリーニング
 - 本体の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

8 給排水位置



9 アフターサービス

保証書

品名	デリエレ・リーシオ/カリッサ	お客様	お名前	様
保証期間	お買い上げ日から 3年		ご住所	
お買い上げ日	年 月 日	電話	電話	
工事店	店名 電話			

※上記はお客様でご記入をお願いいたします(サービスを依頼される際にお役に立ちます)

1. 正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償にて修理または部品を送付いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償扱いとなります。
 - ア) 使用上の誤りおよび不当な修理や設置による故障および損傷
 - イ) 正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障および損傷
 - ウ) 弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障および損傷
 - エ) 弊社以外の組立設置において、組立設置資料どおりに取付けを行わなかった場合や、分解改造などに起因する不具合
 - オ) 設置床面の凹凸に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業(扉の丁寧調整など)
 - カ) 本来の目的以外の用途や一般家庭以外(例: 車両・船舶への搭載、業務用など)に使用した場合の故障
 - キ) お買い上げ後の取付場所の移動による故障および損傷
 - ク) 天災地変など不可抗力による故障および損傷
 - ケ) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)および外部ノイズなどに起因する不具合
 - コ) 消耗部品(照明の蛍光灯・グローランプ・バッキン・カートリッジなど)の劣化に伴う故障および損傷
 - サ) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合および表面仕上げの色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の不具合
 - シ) 砂やゴミ、給水・給湯配管のサビなど、異物流入および水あかの固着に起因する不具合
 - ス) 海岸付近や温泉地など、地域における腐食性の空気環境・公害に起因する不具合
 - セ) 温泉水や井戸水など、水道法に定められた飲料水の水素基準に適合しない水を供給したことによる不具合
 - ソ) 汚れやメッキ部品のサビ・カビなど、通常のお手入れ不足による不具合
 - タ) なすみ・昆虫など動物の行為に起因する不具合
 - チ) 凍結による故障および損傷
 - ツ) 材料の性質上生じるもの(木・石など自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った商品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど)
 - テ) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤・塩素系洗剤・強酸・強アルカリなど)の使用により発生した損傷
 - ト) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤により損傷
 - ナ) 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの
 - ニ) 仕上げキズなどで引き渡し時にお申し出がなかったもの
 - ヌ) 保証書の提示が無い場合
 - ネ) 保証書にご購入者様情報やお買い上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句が書き替えられた場合
 - ノ) 離島または離島に準る遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
3. 本書は日本国内にて有効です。
4. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

廃棄処分について

廃棄の処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

ホルムアルデヒド発散区分		6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB	F☆☆☆☆
1 商品名	洗面化粧台			MDF	F☆☆☆☆
2 製造企業名	株式会社サンワカンパニー			合板	F☆☆☆☆
3 ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ、下地部分共に F☆☆☆☆			接着剤	F☆☆☆☆
4 表示ルール	「住宅部品表示 ガイドライン」				
5 製造番号および年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。				

sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.

● お客様相談センター 受付時間: 土・日・祝日、夏季休業、年末年始を除く 9:00~17:30
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096